

## 《オンリーワンの研究を目指して》

和歌山大学長 小田 章

旧国立大学が国立大学法人に改組されたのが平成 16 年 4 月でした。本学においては、それまでもレベルの高い研究を目指して各教員が凌ぎを削って研鑽を積んで来ました。平成 16 年にシステム工学部の河原教授の研究が当時の C O E 採択直前にまで達し、本学の研究レベルの高さを誇示して頂きました。

本学では、こうしたレベルの高い研究を行いその成果を挙げるべく、平成 13 年度から大学特別経費枠を設定し、オンリーワンを目指す研究助成に取り組んできました。この後継が、平成 16 年度以降取り組んできました「オンリーワン創成プロジェクト」です。これまで年度毎に一定の成果を挙げ、今後の C O E 育成に繋がるものと期待していました。ただ、次期以降は、大学機能として C O E に言うところの研究教育の世界拠点を目指すことと一線を画すこととなりそうで、かかる試みの行く末を心配しているところです。しかし、大学教員は研究者であり、常に高いレベルの研究を行い、大きな成果を挙げるべき活動をしていかなければなりません。国立大学法人に禄を食む限りこのことは至上命令です。この点を明確に認識し、各教員は研究の更なる飛躍を図って頂きたいと念願するものです。

さて、今般、2007 ～ 2008 年度の研究成果が纏められました。今回は、4 つのプロジェクトが内部及び外部者による高い評価を頂いたと聞いております。各教員が真摯に取り組んだ結果であり、嬉しい限りです。唯、この成果だけに終わることなく、更に大きな研究へと飛躍されることを期待しています。

最後に、このプロジェクトの企画・運営に真摯に取り組んで頂いた教職員諸氏に心から敬意を表する次第です。本企画が今後とも一層実りある研究成果を創出することになるように本制度の充実を図って行く所存です。